



# アキシマン

編集 昭島市青少年委員の会  
発行 昭島市子ども育成課

広報部会  
昭島市田中町1-17-1

令和2年 2月発行  
042-544-5111

我ら**青少年**の活動を応援します



## 「青少年健全育成活動の推進」

子ども育成課長 小川 雅義

青少年委員の皆様には、日頃から学校や他関係団体との連絡調整、地域の青少年の健全育成活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。

近年、核家族化の進行や地域のつながりの希薄化等により、地域や家庭の子育て力が低下している中、社会全体で子育てを支援することが重要となっています。

また、青少年を取り巻く状況は、少子高齢化、インターネットやスマートフォンの普及に伴う高度情報化、価値観の多様化、消費型社会の進展等、

その結果、社会的規範の軽視、反社会的行動の遊戯化、怠学などは、限られた青少年だけではなくっており、低年齢化も急速に進展している状況にあります。

次代を担う青少年の健やかな成長を支えることは社会全体の責務であります。青少年の問題は大人社会の反映であることを踏まえて、行政のみならず家庭、学校、地域などすべての組織や個人が一体となって、青少年との信頼関係の上にそれぞれの役割や責任を果たしつつ、相互に補完、協力しながら取り組んでいくことが肝要ではないかと存じます。

このような中、青少年委員の皆様におかれましては青少年健全育成のため様々な研修活動を実施していただき感謝いたします。

## 「 岩 泉 」

青少年委員 白井 規次

今年度、国内交流の団長として参加させていただきました。昭島での受入と岩泉への派遣で子どもたちの笑顔や泣き顔、また怒った顔と様々な表情に出会えたことに感動しました。6年前にも団長として参加をさせていただきました。その当時参加した団員は現在高校生。時の流れを感じましたが、成長した子どもたちの姿を見ると嬉しく思います。

昭島での初日は、岩泉の団員の皆さんは緊張しおとなしい様子でしたが、時間の経過とともに徐々に打ち解けて昭島の団員と仲良くなっていました。「交流の夕べ」の発表会では、双方に住んでいる地域の特徴や特産物などを上手に発表していました。

今年は、レインボープールやくじら祭パレードの参加とボルダリングを体験しました。ボルダリングでは、「怖い」と言いながら一番上まで行く団員もいてビックリしました。

いよいよ、岩泉町へ派遣団として出発の日がきました。岩泉町に到着して岩泉町の子どもたちと2週間ぶりに再会した時は、昔の友だちに会ったかのように笑顔で握手をかわしていました。

初日は廃校となった校舎の校庭でキャンプファイヤーや肝試しをしたり盛り沢山でした。その後校舎で宿泊をしました。2日目はホームステイ先へ引き渡し、3日目は自然体験活動をして、その後有名な龍泉洞を見学しました。そして、それぞれのホストファミリー宅へ戻りました。

最終日のお別れ会では、昭島の団員がバスに乗り込み出発すると目に涙を浮かべる子、バスを追いかけて来る子と別れを惜しむ姿に感動しました。もちろん、車中の昭島の団員も目に涙。それを見ている私の目にも涙が溢れていました。感動です。子どもたちのこのような体験が人への思いやりや、優しさなどを学んでいるのだと思います。

この様に子どもの心を育む事業は今後も継続していくことが必要だと思います。多くのお子さんに是非参加してほしいと思います。

岩泉の皆さんは暖かい。感動、感動、そして感謝です。



## 昭島市リーダーズクラブ (ALC)

## 2019 ALCクリスマス会

青少年委員 中村 真理

大神会館で、12月22日(日)昭島市リーダーズクラブ(ALC)のクリスマス会を行いました。

前回の打ち合わせでメニューを決めて、当日、買い出しをしました。リーダーで分担を決めて調理班、飾り付け班と分けて作業をしました。

飾り付け班は、ホワイトボードに絵を書いたり風船を膨らませて、お花の形を作ったりしました。

調理班は、じゃが芋や玉ねぎを切り、とり肉と炒めて水分が出てきたところで蒸し煮にしたり、唐揚げは2度揚げにしたりと手が込んでいたので、とても美味しかったです。

食事の後は、レクリエーションです。参加者一人一人がリーダーとなり「木の中のりす」「絵しりとり」「ステレオゲーム」「震源地」のゲームを指導して楽しく過ごしました。

また、プレゼント交換もして、最後に片付けをして一本締めで終わりました。



# 2019青少年フェスティバル開催

テーマ：あきしまガンバREIWA！

令和元年11月24日（日）青少年フェスティバルが開催されました。雨天が心配されましたが、開会式が近づき開会宣言と同時刻には晴天となり、うっすらと汗ばむ陽気になりました。今年も高校生から24歳までの若者たちが実行委員となり力いっぱい動き、充実したフェスティバルとなりました。ご協力いただきました多くの方々に、厚く御礼申し上げます。



啓発ポスター



実行委員長：春日まひろ



展示企画作成 くじらフィンガーペイント

## 空いろ企画

空いろ企画は青少年フェスティバルの屋外部門の担当です。マーチングバンド演奏、よさこいダンスをして頂きました。地区委員会さんの模擬店では仮設流し台を設置し、リユース食器を使って頂きました。竹馬、ボクシング、工作、丸太切り、射的、駄菓子釣り、フェイスペイント、駄菓子ゲット輪投げといったアトラクション団体さんも参加して頂きました。空いろとしても、巨大スマートボールを2台用意し子どもたちに楽しんでもらいました。

今年の空いろメンバーは、受験生と就活生ばかりでしたので、どうなることか？と心配しましたが、みんなで都合をつけ合いスムーズに進行が出来ました。チームワークが良く、空いろメンバーはとにかくみんな仲良し。



## 展示企画

展示企画では、体験できる教室、イベントを開催しています。会場は公民館の1階から3階を使い、訪れた方は誰でも気軽に参加できます。内容は毎年、実行委員が協議を繰り返して、楽しめる、学べる内容になっており、フェスティバルが始まった頃から開催の教室をはじめ実行委員発案の体験イベントなど2019年度の教室、イベントは13会場になりました。

フェスティバル前日の朝から始まる会場準備は、実行委員、中高生のボランティア、市民ボランティア、各教室講師のみなさんで力を合わせて、夕方までを目指しフル稼働。そのなか昼食時間の光景はボランティアの方も初めて会った同士と感じないほど笑顔があふれ楽しそうな良い雰囲気、フェスティバル成功の一体感を感じます。まさにワンチーム。フル稼働の準備も、開催当日の大盛況も、夕方までの会場片付けも、春から実行委員が協議を重ね準備を行っているからこそ出来ることと思います。

最後に体験できる内容をご紹介します。昭和高校茶道部による茶道教室、ベテランからジュニアの先生が教える将棋教室そして囲碁教室、皿回しやカード作り、バルーンアートなどのレクリエーション教室、手品が出来るように学べるマジック教室、Nゲージ展示スペース、防災を学べる赤十字スペース、市内小中校生の美術作品の鑑賞スペース、あきしまくじらを学べるスペース、あきしまカルタで遊べるあきしまカルタ教室。そして実行委員が企画実行の3会場、大人気のお化け屋敷、スライム作り体験の手作り教室、大きな大きなくじらの絵に、参加者みんなで指につけた絵の具でペタペタとペイントしたフィンガーアート体験です。完成した大きな大きなくじらの絵（右最上写真）は後日、市役所ロビーで展示されました。青少年フェスティバルにご来場のときは、公民館内の会場でもたくさん遊んでください。





# 青少年委員が、担当地区の 一押し！ を紹介します！



## 玉川小学校地区リーダー講習会「玉っこキャンプ」

毎年、玉川小学校では、夏季を利用して小学校5、6年生を対象としたリーダー講習会を実施しています。

今年度は、8月30日(土)～31日(日)の1泊2日で、昭島市北秋川山の家(桧原村奥秋川ビレッジ)にて宿泊講習会(玉っこキャンプ)を実施しました。参加者は5、6年生児童37名、中学生リーダー2名、大人16名でした。

班ごとの料理コンテストや様々な活動を通して協力する楽しさや大切さを体験させるとともに、川遊びなどの自然にふれあいながら人間関係を育む事を目的として実施しています。玉っこキャンプに至る前に3回とキャンプ後に1回、班決め、料理コンテストの打ち合わせ、レクリエーション、壁新聞作り(キャンプ終了後)の講習を行いました。

キャンプ初日は、川遊び、すいか割りの後、各班毎にキャンプの目玉である料理コンテストを行いました。皆、「あーでもない。こーでもない。」と言い合いながら優勝目指して大奮闘。できた料理は1食分を本部に持ってきてもらい、大人たちスタッフが試食し審査しました。子どもたちは「自分たちの班が絶対に一番だ。」という自信のもと審査の行方をうかがいながらそわそわ。結果は大人たちの予想に反し、元気一杯の男子チームが優勝しました。どのグループも「なぜ自分たちの班じゃないんだ。」とクレームもでるほど熱い戦いでした。毎回、子どもたちそれぞれの特技や競争心など意外なところを見ることができ、子どもたちだけでなく、スタッフもやり甲斐のあるイベントとなっています。夜は、キャンプファイヤーを行いその後、肝試しでクールダウンし消灯。

2日目は、おにぎり作り、部屋の片づけ、川遊びをし、キャンプ場を出て、バスで大岳鍾乳洞に寄りました。鍾乳洞もヘルメットをかぶり、探検家気分、それなりに楽しんでいました。



たくさん体験したよ～！！



## 共成小学校地区リーダー講習会「共成子供クラブ」

共成小学校地区委員会では、小学生リーダー講習会を「共成子供クラブ」と名付け、5・6年生を対象に、4月の発足式以降、拝島自然公園でのキャンプ、川遊び、清里での宿泊講習会など、1年を通して活動しています。

今回は、毎年9月下旬にしている「清里宿泊講習会」のプログラムを紹介します。1日目のメインは学習発表会。学校など身近で見られる生物について夏休みに調べ学習を行い、それをプレゼンテーション形式で発表します。子どもたちは絵や図を作成したり、途中でクイズを混ぜたり、学習の成果をいろいろ工夫して発表します。

持ち時間が決められており、事前に家で何回もリハーサルして来る子もいます。大人が採点をするのですが、本当に甲乙つけ難くこちらも真剣そのものです。この発表会は、中学や高校ひいては社会人になっても役立つものだ子どもたちに伝えていきます。2日目のメインは工作です。1日目のハイキングで採集してきた木の実や小枝などを利用して自由に工作をします。子どもの発想は豊かだと、毎年感心しています。

「共成子供クラブ」の目標は二つ

- 一、あいさつがきちんとできる
- 二、自分の気持ちをはっきりと言葉で表すことができるです。

発足式の時には、ぼそぼそと下を向いたままで自己紹介をしていた子どもたちも、6年生を送る会の際には、後輩や大人たちに向かって堂々と中学での抱負を述べられるようになります。毎年そんな成長を見守れるのが醍醐味です。

